

衆議院財務金融委員会ニュース

H28.10.26 第192回国会第4号

10月26日(水)、第4回の委員会が開かれました。

1 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための消費税法の一部を改正する等の法律等の一部を改正する法律案(内閣提出第3号)

- ・麻生財務大臣から提案理由の説明を聴取しました。
 - ・麻生財務大臣兼金融担当大臣、木原財務副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
- (参考人) 日本放送協会専務理事 今井 純君

(質疑者及び主な質疑内容)

村井英樹君(自民)

- ・我が国の公的年金等控除は諸外国に比べて広範囲に認められているが、まず、公的年金等控除創設の背景、経緯及び意義について政府の見解を伺いたい。
- ・収入が同額であっても給与所得控除に比べて公的年金等控除の控除額が大きいことや、高齢者が若年者より資産を持っていることから、公的年金等控除の水準を是正していくべきではないか。
- ・高額療養費制度において、年齢による医療費自己負担の差を是正し、70歳未満の自己負担限度額にあわせる方向にすべきだと考えるが政府の見解を伺いたい。

伊藤 渉君(公明)

- ・目下の経済対策として政府の財政出動を図り経済を下支えすることは重要である一方で、財政再建に対する影響についても目配りしなければならないと考えるが、平成28年度第2次補正予算を考慮した2016年度の基礎的財政収支(プライマリーバランス)の対GDP比はどのようになるか伺いたい。
- ・財政健全化の取組によって安心した社会保障制度を確立していくことが、将来見通しの明るさを国民へ与えることになり、経済においてもプラスに寄与していくと考えるが、2020年度のプライマリーバランスの黒字化という財政健全化目標の達成見通しについて伺いたい。
- ・金融機関の融資の現状は、目利きにより必要な企業に対して資金が十分に拠出されていないと認識しているが、金融庁の目下の取組について伺いたい。

木内孝胤君(民進)

- ・リーマン・ショック級の重大な事態が発生しない限り、平成29年4月からの消費税率10%への引上げを確実に実施する旨を発言していたにもかかわらず、なぜ今回、消費税率の引上げ時期を平成31年10月に再延期したのか。
- ・2020年度までのプライマリーバランスの黒字化の目標の設定が、我が国の景気回復にブレーキを踏んでいると考えるが、プライマリーバランスの黒字化目標の達成に向けての道筋について伺いたい。
- ・消費税率引上げを行う強い決意の表れとして景気判断条項を削除したともとれるが、削除するのは自信のなさの表れと思っている。今回、景気判断条項を入れなかった理由について伺いたい。